

## 第 27 回経営協議会議事録

I 日 時 平成 20 年 12 月 8 日 (月) 13 : 00 ~ 14 : 45

II 会 場 附属学校教育局「第一会議室」

III 出席者〔学外委員〕

秋元勇巳、飯野正子、石田瑞穂、大崎仁、古賀正一、柴崎信三、西野虎之介

〔学内委員〕

岩崎洋一、工藤典雄、腰塚武志、田中敏、波多野澄雄、吉武博通、谷川彰英、  
山田信博、水林博、植松貞夫

IV 議 題

- 1 平成 20 年度筑波大学補正予算の編成について ----- [資料 1]
- 2 セグメント情報の開示区分の拡大について ----- [資料 2]
- 3 平成 20 年度一般会計補正予算(第 1 号)における筑波大学の施設整備等の  
実施予定事業について ----- [資料 3]
- 4 平成 20 事業年度中間決算について ----- [資料 4]
- 5 余裕金の運用について ----- [資料 5]
- 6 附属病院再開発整備に係る土地の貸与について ----- [資料 6]
- 7 平成 19 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について ----- [資料 7]
- 8 平成 20 年度給与改定(追加改正分)について ----- [資料 8]
- 9 筑波大学保育施設の拡充について ----- [資料 9]
- 10 世界大学ランキングについて ----- [資料 10]
- 11 東京理科大学との包括連携協定の締結について ----- [資料 11]
- 12 教育研究評議会報告 ----- [資料 12]
- 13 天皇皇后両陛下並びにスペイン国王王妃両陛下による本学ご視察について ----- [席上配付]

V 議 事

冒頭に、学長から学外委員に対して、学長選考への協力に対して謝意が表され、次いで、次期学長予定者の山田信博理事・附属病院長から挨拶があった。

1 平成 20 年度筑波大学補正予算の編成について

田中理事から、資料 1 に基づき、本学の平成 20 年度補正予算の概要について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

委員から、総人件費の状況について質疑があり、田中理事から、今回の補正予算において承継職員の人件費は約 9 億円の削減としているが、外部資金の獲得増加に伴い、当該資金で雇用する非常勤職員の人件費も増加することから、年間の総人件費としては増加する見通しである旨の説明があった。

2 セグメント情報の開示区分の拡大について

田中理事から、資料 2 に基づき、平成 20 事業年度からのセグメント情報の開示区分の拡大案に

ついて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

委員から、剰余金の使途がこれらのセグメントごとに制限されるのかとの質疑があり、田中理事から、病院会計に計上される附属病院を除き、剰余金の使途にセグメントごとの制限はない旨の説明があった。

3 平成 20 年度一般会計補正予算(第 1 号)における筑波大学の施設整備等の実施予定事業について

田中理事から、資料 3 に基づき、平成 20 年度一般会計補正予算(第 1 号)における筑波大学の施設整備等の実施予定事業の概要について報告があった。

4 平成 20 事業年度中間決算について

田中理事から、資料 4 に基づき、本学の平成 20 年度中間決算の概要について報告があった。

委員から、附属病院の収支が改善した要因について質疑があり、山田理事から、7 対 1 看護の実施に伴う看護師増により人件費が増加したが、当該看護体制の実現により、人件費の増加以上に診療報酬が増加したことが、収支の改善に大きく貢献している旨の説明があった。

5 余裕金の運用について

田中理事から、資料 5 に基づき、余裕金の運用に関する規則等の一部改正及び制定の概要について報告があった。

委員から、一部の私立大学が、資産運用において多額の評価損を計上していることについて言及があり、田中理事から、国立大学法人は、文部科学大臣からの通知に基づき、基本的に元本が保証される国債等で余裕金を運用しているため、現在のところそのような問題は生じていない旨の説明があった。

6 附属病院再開発整備に係る土地の貸与について

山田理事から、資料 6 に基づき、附属病院再開発事業の一環として本学敷地内に誘致する外部事業者に対する本学の土地の有償貸付案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

委員から、附属病院再開発事業を財政投融資ではなく P F I により行うことのメリットについて質疑があった。これに対して、山田理事から、大学人が望む医療を実現するためにはある程度の規模による再開発を行わなければならないが、財政投融資で認められる範囲は限られているため、P F I による再開発を選択した旨、また、債務の返済計画については、附属病院の現在の運営基盤が大きく変わらない限り、特段の支障はないと判断している旨の説明があった。

なお、学長から、管理運営面も含めた再開発事業全体の最終的な概要について、資料を整理し次回以降の本会議において報告することとしたい旨の発言があった。

7 平成 19 年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

吉武理事から、資料 7 に基づき、平成 19 年度に係る業務の実績に関する評価結果の概要について報告があった。

8 平成 20 年度給与改定(追加改正分)について

吉武理事から、資料 8 に基づき、10 月 1 日付けで実施した、平成 20 年度給与改定の追加改正分の概要について説明があり、了承された。

9 筑波大学保育施設の拡充について

波多野理事から、資料9に基づき、ゆりのき保育所の拡充案について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

10 世界大学ランキングについて

吉武理事から、資料10に基づき、英国TIMES社及び上海交通大学による世界大学ランキングの概要について報告があった。

11 東京理科大学との包括連携協定の締結について

水林副学長から、資料11に基づき、東京理科大学と締結予定の包括連携協定の概要について報告があった。

12 教育研究評議会報告

学長から、資料12に基づき、前回の本会議以降に開催された、教育研究評議会の議事の概要について報告があった。

13 その他

(1) 委員から、本学の寄附戦略について質疑があり、田中理事から、卒業生を中心に経常的に寄附を集められる仕組みを戦略的に構築していく必要がある旨の説明があった。また、学長から、卒業生ネットワーク強化の重要性について言及があった。

(2) 学長から、席上配付に基づき、11月12日(水)に、天皇皇后両陛下並びにスペイン国王王妃両陛下が本学をご視察になられた旨の報告があった。

以 上